

浦添市長杯 中学ハンドボール

ハンドボールの第18回浦添市長杯争奪第49回県中学校新大会最終日は10日、ANAスポーツパーク浦添で行われ

た。女子仲西は20-18の逆転勝ちで浦西を退け、2年連続11度目の優勝をつかんだ。男子神森は46-34で松島を突き放し、2年ぶり19度目の頂点に立った。男女優勝チームは春の全国選抜(3月26~29日、富山県)、男女2、3位のチームは九州大会(3月18~20日、熊本県)の出場権を得た。

仲西(女子) 神森(男子) に栄冠

女子・仲西

大城詩 気迫の勝ち越し弾



試合終盤、流れ引き寄せる

女子仲西が逆転勝利で連覇を飾った。前半はフィニッシュの精度で劣ったが、後半に

ハイライト

勢いをつかむ流れを渡さないかった。

大城詩は試合終了間際にも、月ほまた実感が湧かないと静かに勝利の鐘に浸った。大きく流れが変わったのは、後半7分すぎ。相手に2分間を奪われ、仲西が徐々に追い上げた。このタイミングで、大城詩がゴールを叩き、仲西のリードをさらに広げた。6分すぎ、大城詩は再びゴールを叩き、仲西のリードをさらに広げた。6分すぎ、大城詩は再びゴールを叩き、仲西のリードをさらに広げた。

大城詩は試合終了間際にも、月ほまた実感が湧かないと静かに勝利の鐘に浸った。大きく流れが変わったのは、後半7分すぎ。相手に2分間を奪われ、仲西が徐々に追い上げた。このタイミングで、大城詩がゴールを叩き、仲西のリードをさらに広げた。6分すぎ、大城詩は再びゴールを叩き、仲西のリードをさらに広げた。

大城詩は試合終了間際にも、月ほまた実感が湧かないと静かに勝利の鐘に浸った。大きく流れが変わったのは、後半7分すぎ。相手に2分間を奪われ、仲西が徐々に追い上げた。このタイミングで、大城詩がゴールを叩き、仲西のリードをさらに広げた。6分すぎ、大城詩は再びゴールを叩き、仲西のリードをさらに広げた。

大城詩は試合終了間際にも、月ほまた実感が湧かないと静かに勝利の鐘に浸った。大きく流れが変わったのは、後半7分すぎ。相手に2分間を奪われ、仲西が徐々に追い上げた。このタイミングで、大城詩がゴールを叩き、仲西のリードをさらに広げた。6分すぎ、大城詩は再びゴールを叩き、仲西のリードをさらに広げた。

【男子】	浦添	35
▽連決勝	神森	46
▽3位決勝戦	松島	31
	浦西	27
	東風平	18
	松島	34
	神森	1519
	浦西	1413
	東風平	108
	松島	1318

【女子】	浦西	18
▽連決勝	神森	23
▽3位決勝戦	松島	27
	浦西	14
	東風平	8
	松島	23
	神森	1517
	浦西	149
	東風平	127
	松島	810

仲西は20-18の逆転勝ちで浦西を退け、2年連続11度目の優勝をつかんだ。男子神森は46-34で松島を突き放し、2年ぶり19度目の頂点に立った。男女優勝チームは春の全国選抜(3月26~29日、富山県)、男女2、3位のチームは九州大会(3月18~20日、熊本県)の出場権を得た。



優勝した女子・仲西のメンバー



優勝した男子・神森中のメンバーら



神森・松島 後半、サイドから切り込みシュートを決める神森の新垣太郎主将

見舞われ、前半10分すぎに無念の退場。少なからず1人以内は動揺が広がった。それでも、センターの新垣太郎は、左の安里康生へのホットラインが効果的得点につながった。新垣は広い視野で常に起点となり、自らも15得点と奮闘した。後半は神森のパスワークが、チーム一丸とされた。と達成感をこぼした。(大城三太)